

近年の土砂災害を踏まえた、住民から相談があった場合のサポート体制 (県北振興局管内)

土地所有者、地域住民
(がけ所有者等)

・ 協力
(市町との連携)

・ 指導
・ 助言
・ 協力

・ 相談

・ 紹介
・ 相談

県北振興局

市町窓口

砂防防災課 | 砂防第一班、砂防第二班 | 0956-23-5083

・ 相談
(適宜)

・ 助言

長崎県庁

砂防課 | 保全班 | 095-894-3076

・ 派遣

・ 相談
・ 協力要請

・ 助言

砂防ボランティア、土砂災害専門家等

・ 助言
・ 協力
・ 情報共有

平戸市	建設課 維持補修班	0950-22-4111
松浦市	防災課	0956-72-1111
	建設課	
小値賀町	建設課	0959-56-3111
佐々町	建設課	0956-62-2101
佐世保市	河川課	0956-24-1111
西海市	建設課	0959-37-0020
波佐見町	建設課	0956-85-2111
川棚町	建設課	0956-82-5415
東彼杵町	建設課	0957-46-1354

次ページのような前兆現象を確認したら上記のお住まいの市町へご相談ください。

土砂災害の前兆現象

こんな現象を見たら・・・聞いたら・・・土砂災害の危険が迫っています。
できるだけ早く周りの人と安全な場所に避難するとともに市、町などの最寄の公共機関にご連絡ください。

「土石流」 前兆現象



・山鳴りがする。



・川が濁り、流木が混ざっている。 ・雨が降り続けているのに川の水位が下がる。



「地すべり」 前兆現象



・沢や井戸の水が濁る。

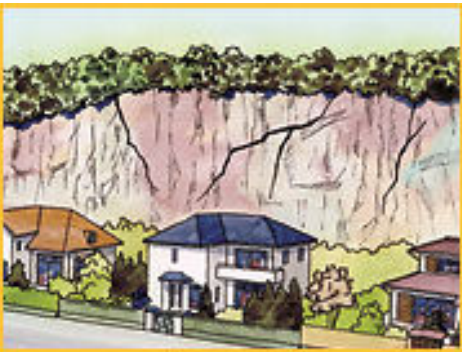


・地面にひび割れができる。



・斜面から水がふき出す。

「急傾斜」 前兆現象



・がけに割れ目が見える。



・がけから水が湧き出ている。



・がけから小石がぱらぱらと落ちてくる。

- ・令和2年2月5日に神奈川県逗子市で道路に隣接する民有地斜面が雨が降っていないにもかかわらず斜面が崩落し、歩道の歩行者が土砂に巻き込まれ死亡するがけ崩れが発生しました。
- ・斜面は、風化が進行して無降雨であっても突然崩壊する危険性があるため、土地所有者に対して、斜面の自主点検時のポイントを示しました。 ※風化: 地表の岩石が気温、雨水などの作用により次第に破壊され土や砂になること

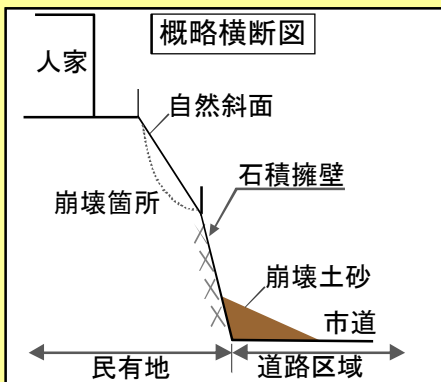
◆がけ崩れの概要

発生日時: 令和2年2月5日 8時頃

発生場所: 神奈川県逗子市池子

崩壊規模: 幅8~9m、長さ8m、深さ1m程度

被害状況: 死者1名(歩道歩行中に崩落土砂に巻き込まれ死亡)



◆崩壊の原因

- ①風化した凝灰岩(ぎょうかいがん: 火山灰が固まった岩石)が崩落したものと考えられる。
- ②植生が貧弱であるうえ、地表温度の変化や風の影響を受けやすく乾燥・湿潤を繰り返し受け易いなどの悪条件が重なったものと推察される。

◆斜面点検時のポイント

点検時に、①斜面に亀裂や、②浮き石、③落石がある場合は、風化の進行により斜面が不安定になっている可能性があるため注意が必要です。

※植生が貧弱な場合には、風化が進みやすいため、特に注意が必要です。



①亀裂



②浮き石



③落石

変状が見られる場合

市町村等に連絡

- ◆点検時にお役立ていただきたい前兆現象は、以下を参考ください
<https://www.gov-online.go.jp/useful/article/201106/2.html>